

放射線装置申請書 ・ エックス線等装置報告書⁽¹⁾

平成 年 月 日

放射線障害予防小委員会

委員長

殿

部局長

印

下記の通り装置の 設置・変更・廃止⁽¹⁾ について申請（報告）します。

記

部局・専攻・分野名					
使用責任者 (原則として教授)		職名	氏名	エックス線 作業主任者 ⁽⁶⁾	
設置・変更・廃止 ⁽¹⁾ の 内容および理由					
設置・変更・廃止の日		平成	年	月	日
装置の設置場所 (構内・建物・階・室名)					
装 置	分類 ⁽¹⁾⁽²⁾	放射線装置 ・ エックス線等装置			※登録番号
	種類 ⁽²⁾			用途 ⁽³⁾	
	一般名称				製造年
	メーカー・型式				
	主な性能 ⁽²⁾				
障 害 防 止 の た め の 設 備	装置室の壁・床等 の構造及び材料				
	遮蔽板・照射筒等 の設置の状況				
	警 報 装 置	種類：	位置：	自動・手動 ⁽¹⁾	
	インターロック	動作条件：		容易に解除可・不可 ⁽¹⁾	
	放 射 線 測 定 器	種類：	型式：		
	標 識 等 の 設 置 状 況 ⁽⁴⁾	☐ 装置を示す標識 ☐ 装置室を示す標識 ☐ 使用責任者名の掲示 ☐ 注意事項の掲示 ☐ 使用時の線量分布図 ☐ 緊急連絡先の掲示 ☐ 使用記録簿の備付け			
外 部 放 射 線 ⁽⁵⁾	線量率	μ Sv/h (メーカー保証値 ・ 実測値 ⁽¹⁾)			
	測定器				
管理区域 ⁽⁴⁾	☐ 装置外部に無い ☐ 装置周辺 ☐ 装置室全体 ☐ 障害防止法で設定済				
装置を用いる業 務の概要					
装置使用者数 ⁽⁷⁾	男	女		計	
添付書類 ⁽⁴⁾	☐ 様式 27(放射線装置摘要書) ☐ 管理区域図面 ☐ 様式 28(放射線装置室等摘要書)				
記 入 者	氏名：		電話：		
	電子メール：				

備考

- (1) いずれかを○で囲むか不要な項目を消すこと。
 (2) 種類と分類、記載する性能は次の通り

分 類	種 類	性 能
放射線装置	イ. 医療用エックス線装置	定格出力、最大使用条件（設定している場合）
	ロ. 工業用等エックス線装置	
	ハ. 荷電粒子を加速する装置（障害防止法）	粒子の種類、最大エネルギー、最大電流
	ニ. 放射性物質を装備している機器	RI の種類および数量(Bq)
エックス線等装置	ホ. 電子顕微鏡	定格の加速電圧、電子電流
	ヘ. 荷電粒子を加速する装置（ハ, ホ以外）	粒子の種類、最大エネルギー、最大電流
その他	ト. いずれにも該当しない装置	仕様書等から抜粋して記載

- (3) 用途の欄には、次の区分により記入すること。
 医療用のエックス線装置……診断用，治療用
 工業用等のエックス線装置……非破壊検査用（撮影用），非破壊検査用（透視用），その他の研究用
 荷電粒子を加速する装置……医療用，非破壊検査用，その他の研究用
 放射性物質を装備している機器……医療用，非破壊検査用，その他の研究用
 電子顕微鏡……教育・研究用
 その他……その他
- (4) 該当するものにチェックすること。
 (5) 定格運転時の装置表面における最大の実効線量率と測定に用いた放射線測定器を記入すること。
 メーカー保証値を記入してもよい。
 (6) 規定の要件を満たす場合は不要
 (7) 労働基準監督署に届出る人数（教職員のみ的人数）を記入すること。
 (8) 設置・変更（軽微な変更を除く）の場合は、工事着手日の 45 日前までに環境安全保健機構へ提出すること。